

(会議録)

加東市環境市民会議 第3回会議議事録

開催日時：平成21年11月17日(火)午後7時00分から午後10時40分まで

開催場所：社公民館(社多目的研修館) 研修室(2階)

出席委員：伊藤忠義委員、藤本武志委員、水口逸男委員、竹内正子委員
阿江洋和委員、梶原一晃委員、安達廣子委員、佐々木正利委員
竹村厚司委員、岸本清明委員、山口広子委員、吉田博史委員
藤井俊宏委員、弘中和夫委員、石田れい子委員、井上綾乃委員
小林隆造委員、近松照芳委員 (委員出席18名、欠席0名)

コンサル：兵頭統括者、井原技術士(コンサル出席2名)

事務局：前田生活課長、藤浦生活課副課長、岸本主幹、長谷田主幹(事務局出席4名)

会議次第(抜粋)

1. あいさつ
2. 事務局連絡事項
3. 本日の話題提供と加東市の環境に関する意見・情報交換について
4. 環境まちづくり会議の企画検討について
5. 次回会議日程調整について

会議録(議事録)

【あいさつ】

前田生活課長 あいさつ

【本日の会議の進め方】

今後(本日)の会議の進め方について 説明提案(ウエスコ)

【本日の話題提供と加東市の環境に関する意見・情報交換について】

(ウエスコ井原技術士) ※説明はパワーポイントで以下の項目を詳細説明

- 生物多様性・自然環境について話題提供
- 生物多様性・自然環境に関する加東市の現状について
環境市民会議委員(鴨川小学校教諭)岸本清明氏より

【環境まちづくり会議の企画検討】

- 事務局案の説明
- 企画案の対する検討・意見交換

【生物多様性・自然環境に関する加東市の現在の状況について意見・情報交換】

(竹村委員長) 加東市の自然環境のことや生物多様性のことについて、各委員様のご意見をお聞きしたいのですが。岸本委員、如何ですか。

(岸本委員) 鴨川小学校の総合学習で「魚」をテーマに1年間取り組んでいます。2学期には保護者の方々にアンケートを取りました。そうしたら、うなぎやウグイやヘラブナなど数々の魚が見なくなったり、少なくなったということが分かった。

鴨川のような自然豊かな場所でもそういった状況になっている。私自身が大変驚いた。

3学期には、どうして減ったのかを考えたいと思っている。

(竹村委員長) 今の中で、種類が非常に減ったとの事だが、数も減っているのですか。

(岸本委員) 鴨川は東条湖に流れ込んでいるのですが下流（東条湖に近いところ）ではそんなに大きな影響はないが、用水のための堰などにより、上流に行くほど影響が大きく出ている。

(竹村委員長) では、昔と違って増えているものは何かないのですか。

(岸本委員) あります。ブラックバスとブルーギルなどの外来種が増えています。あと、にごい（似鯉）が増えています。

東条湖（鴨川ダム）は大川瀬ダムから導水路で水を引いていますから、その水と一緒ににごいが東条湖に入り、鴨川まで溯上（そじょう）してきたのでしょうか。

川で釣りをしたら沢山釣れて、地元の方も「昔はいなかったのに」と驚いておられました。

(竹村委員長) 生態系が変わってきているということでしょうか。

(井上委員) 今の岸本さんの話を聞いていると地元の方は沢山の魚のことを知っておられるようですが、私たちの年代ではそういったことも全く分からない。加東市の自然を味わえるようなイベントなどが沢山あれば良いと思います。大人も子供も楽しめるようなイベントがあれば、子供と一緒に参加すればそこで大人も体験でき勉強も出来るので。

(竹村委員長) 生態系を知ることは、市民の皆さんが自然そのものをもっと知っておくべきだということで、そのために、この会議などでそういったイベントなども行っていくべきだということですね。

(竹村委員長) 私は大学で地学を専門としていていろんな場所に行くが、森や森林で非常に荒れたところが多いように目立つ。山に人が入らなくなっているのではないのでしょうか。

(岸本委員) 鴨川でも荒れています。外から見る限りは何ら変わりませんが、中に入ってみると、倒木などが散在して、本来の「里山」ではなく、「里山放置林」と呼ぶような状態です。鴨川だけではなく、殆どの山がそういう状態なのではないのでしょうか。

(近松委員) 私も、子どもの頃から田植えの手伝いなどで田畑で過ごした。いろんな生き物とも触れ合った。しかし、今は機械化などで子供が田畑に近づかなくなったことは事実だと思う。

ただ、農業等の効率化と自然環境教育（自然に触れ合う機会）という部分をどう捉えていくか、話を聞いていて難しいことだと痛感しました。

*** 野生生物の増殖について議論 ***

(竹村委員長) 今までの議論の中で環境問題と経済活動のバランスが大事だと思います。先程から出ている、野生生物が増えているということは自然のバランスが崩れていることが原因かもしれないし、それには人間が深く影響していることが考えられるので、だからこそ、人間が自然をコントロールする必要があるのかも知れない。

今後、環境市民会議で考えていく議題の一つかも知れない。

(藤本委員) 昔は川で魚を取ってそれを食べていた。だから、魚のことや川のこと誰も知っていたと思う。山にしても、生活の糧にするために山に入っていた。人工林（植林等）で生活の足しになっていたから山に入って作業をして、それが山全体の管理につながっていたの

だと思いが、今はそうではないので誰も山に入らなくなった。

里山と言っても、管理など簡単なものではないし、木をきったりしてそれをどうするのかということも整備していかないと、地域の管理などは簡単ではない。

【環境まちづくり会議の企画・検討について】

*** 「環境まちづくり会議」の事務局案について検討・結果報告 ***

*** 次回開催日調整 ***

会議終了